

平成 28 年度 第 1 回運営委員会 議事録

◇日時：2016 年 7 月 20 日 午前 11 時 00 分～12 時 00 分

◇場所：那覇市役所 5 階 会議室

◇参加者

- ・沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課 主任 比嘉 久枝
- ・那覇市総務部 平和交流・男女参画課 那覇軍港総合対策室
課長 上原 徳一郎
- ・沖縄 NGO センター 事務局長 大仲 るみ子
- ・沖縄国際人材支援センター 瀬底 あけみ
- ・沖縄国際人材支援センター 藤崎 敦（記録）

◇◇内容◇◇

今年度事業計画について、核となる日本語教室に関連した報告から行ったのち、特に広報活動に焦点を当て意見を伺った。現状は SNS を使ってこれまでの受講者に知らせたり、2 つの情報紙に掲載を行ったり、市役所など外国人が行きそうな場所にチラシをおいてもらっている。しかし、受講者が 10 人前後しか集まっておらず、意見を求めたところ、税関係の場所や学校などは必ず在住者が利用するので、チラシを置いたらどうかという意見を頂戴した。また、コミュニティとの関わりも重要で、先日の熊本の震災の際も県や市で対応が遅れてしまった時も、被害に合わなかった地域から支援をしてもらったりしていたということも教えてもらった。今後は既存のコミュニティとの関わりも強めていく一方、この日本語教室もコミュニティの一つとして気軽に日本人との関わりを持てる場としていくことが確認された。

また、沖縄では集住する外国人が少なく、観光などの短期間の滞在が多いため、日本人の外国人に対する関心が少ない傾向にあるが、人手不足により、労働力が日本人だけでは賄えない状況で、外国人の協力は今後ますます必要になってくる。これは沖縄本島だけではなく、石垣や宮古など離島でも外国人が増えており、この問題を解決するために、離島では Facebook などの SNS を活用し教材提供を活発に行うこと、そして、現地に行き何ができるかを一緒に考える機会を 8 月初旬に設けることが報告された。

8 月後半には、『やさしい日本語』の勉強会が 3 日連続で企画されている。日本人側が在住者が理解しやすい日本語の話し方、案内の仕方を身につけることが大切なことをもっと広く知らせて行くことが多文化共生には不可欠であるとの認識を共有した。

今年度も昨年同様運営委員諸氏に外部評価をお願いしたい旨提案がなされ、了承された。

最後に、日本にいる外国人が日本語力の不足によって、誤解をされたり不利益を被ることがないように、今後も気軽に来て、ゆんたくができる日本語教室や交流の場を提供していくことがこの事業の一番の目的であることを再確認しておわった。

平成28年度 第2回運営委員会 議事録

◇日時：2017年1月24日 午前11時00分～12時00分

◇場所：那覇市役所 5階 会議室

◇参加者

- ・沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課 主任 比嘉 久枝
- ・那覇市総務部 平和交流・男女参画課 那覇軍港総合対策室
課長 上原 徳一郎
- ・沖縄県国際交流人材育成財団 国際交流課 課長 根来 全功
- ・沖縄 NGO センター 事務局長 大仲 るみ子
- ・沖縄国際人材支援センター 瀬底 あけみ
- ・沖縄国際人材支援センター 藤崎 敦（記録）

◇内容

これまでの事業の取り組みについて、瀬底より報告を行う。

1. 6月29日(水)～から3月1日(水) 毎週水曜日の6:30～8:30

生活者のための日本語教室 30回のうち23回まで終了

参加者詳細 国籍・地域 21箇所

参加者数 42人

最大参加者

☆特徴的なこと

- ・今回は英語教師と配偶者・家族滞在が多い。
- ・11月にはいってから人数が減ってきている。寒いせいかな？
- ・1週間に1回だと長く続かない。3～4回で来なくなる人も多い。
- ・12月14日(水)は、恒例となっている1品もちよりのクリスマスパーティーをしてもりあがった。互いの国の料理を紹介したり、会話がはずんだ。
- ・3月1日の最後まで、いろいろ呼びかけて進めていきたい。

2. 8月1日(月)～5日(金) 宮古島市・石垣市出張

+11月5日(土)石垣市出張

離島地域の日本語教室支援として何ができるか、まずいろんな人から意見を聴取した。その後、那覇で行った「やさしい日本語講座」を石垣でも実施することになった。

3. 8月22日(火)～24日(木) やさしい日本語3日間集中講座

京都から講師を招き、初日に「やさしい日本語」ができた経緯とその活用の仕方を、2日目には日本語教室の学習者とともに防災講座を、そして3日目に自分たちで「やさしい日本語」を使ったポスター作りに挑戦し、「やさしい日本語」の概要を理解した。

4. 1月18日(水)～19日(木) やさしい日本語講座 石垣市開催

那覇で初日と3日目にやった講座を1日にまとめて、同じ講座を2日間行い、石垣市の全部署から1名ずつ参加した。窓口対応の参考にする、という意見が多かった。

5. 3月5日(日) まーさん交流会
今から企画やチラシを作る予定。
6. 本事業の評価について
感想は印刷するとかさばるので、スキャンしたものを実績を書き加えたシートとともに各委員に送る。
7. 次年度に向けて
日本語教室、やさしい日本語、自分の国を紹介する映画祭、まーさん交流会、の四本立てで提出。2月ごろ結果通知が来る予定。

その後、宜野湾市で現在行われている沖縄県のパイロットプロジェクトの中でも『やさしい日本語』の講座が行われること、財団の日本語教室の取り組みなどの報告を聞き、さらに在住外国人が暮らしやすい地域を作り出す努力が必要なことを全員で確認して、散会した。

以上

平成28年度 第3回運営委員会議事録

◇日時：2017年3月13日 午前11時00分～12時00分

◇場所：那覇市役所 5階 会議室

◇参加者

- ・沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課 班長 山川 優(比嘉委員代理)
- ・那覇市総務部 平和交流・男女参画課 那覇軍港総合対策室
課長 上原 徳一郎
- ・沖縄県国際交流人材育成財団 国際交流課 課長 根来 全功
- ・沖縄 NGO センター 事務局長 大仲 るみ子
- ・沖縄国際人材支援センター 瀬底 あけみ
- ・沖縄国際人材支援センター 藤崎 敦(記録)

◇内容

1. 3月に終了した取組についての報告

① 6月29日(水)～から3月1日(水) 毎週水曜日の6:30～8:30

生活者のための日本語教室

☆特徴的なこと

- ・10回以上継続して参加した人は10人程度と少なかった。
- ・日本人ボランティアがコンスタントに来てくれた。
- ・最後に互いが勉強したことを発表しあって、初めての人は自己紹介をしてもらった。去年より一体感があった。
- ・週1回のせいか、テーマをもうけなかったせいか、継続して通う人が少なかった。
- ・就職活動につながる日本語について企画していたが、すでに仕事がある人、主婦の人が多く、希望者が少なかったため行わなかった。
- ・次年度についてみな知りたがっている。どのような形がのぞましいのか、今後検討する。

委員からは、

- ・アンケートにコメントがあったほうがいい。
- ・来なくなった人の傾向を分析することで日本語教室の方向性をさぐることができるのではないか。
- ・居場所としての重要性を日本人側も理解すべき。

等の意見が出された。

② 3月5日(日) まーさん大交流会

参加者 外国人 350人 日本人 150人程度

- ・日本文化経済学院と共催だったので、参加者はネパール人が多かった。
- ・イレスコがイギリスやペルーの料理、スペインの文化等、少数国の紹介ができてよかった。

- ・日本語クラス全体でクイズなど、出し物が企画できればよかった。
- ・あまり触れることがない外国人とひとつの場を共有できる催しとして、定着させていきたい。

委員からは、・日本人参加者が外国人理解を深めるいい機会になった。

- ・料理を糸口に人が集まるのはいいことだ。

等の意見が出された。

2.本事業の評価について

昨年から運営委員に外部評価をお願いしているが、特に今年から3年をめどに成果を出さなければならない中で、事業目的に沿って達成されているのか、慎重に吟味する必要があるとの意見が出され、委員それぞれが再度各取り組みのアンケートを持ち帰り、外部評価表に記入の上、文化庁からの本年度事業に対する評価を記入して提出することとなった。

対象事業 平成28年度文化庁委託事業 沖縄県内在住『生活者としての外国人』のための地域日本語教育実践プログラム

事業の目的 沖縄県内在住の外国人が、日本語能力の不足によって誤解されたり、不利益を被ることのないよう、日本語力ならびに日本の文化習慣を学べる機会を作ることを通して、周囲の日本人にこうした在住外国人の存在を知らせ、彼らが抱える諸問題の解決のために日本人が積極的にかかわっていけるような体制を整える。特に今回、那覇市での教室を継続させるとともに、離島地域での日本語教室の立ち上げ、充実に向けて、現地の有志と連絡をとりあい、体制作りを行う。

評価項目 目標設定に対する達成度を評価する。

事業名	目標設定	事業実績	5段階評価	評価項目に対する主な意見
取組1 日本語教室	①受講生が必要としている日本語学習を、それぞれの要望に応じて提供できるよう、教材の選択肢を増やして、学習満足度を高め、日本語力の向上をめざす。 ②仕事を探している受講生が積極的に就職活動ができるよう応援していく。	参加外国人49名(24の国・地域) 日本人16名 平均外国人参加者9名 日本人参加者8名。 ほぼ1対1か、2で、本人が希望する内容の学習ができた。次年度の継続を希望する声も多い。	3	日本語が上手になった+まあまあ上手になった=85% 日本で生活できるようになった+少しできるようになった=90% 昨年の参加者総数56名。ボランティア20名を少し下回っていた。対面聞き取り集計以外に、参加外国人の意見もあるとよい。
取組2 大交流会	身近に暮らす外国人の出身地の文化を通して、日本人と外国人が互いを理解し、安心して住める地域づくりをめざして連携できるきっかけとする。	参加外国人350名 日本人150名程度 日頃紹介する機会が少ない母国の文化を楽しみながら日本人に伝えることができ、日本人の外国人への理解も深まった。	3	参加外国人350名 日本人150名の多くの参加者がいた。 アンケート回答数(12名)が少なく、もっと回答を求めたい。 参加者数の他、事業内容としての交流会プログラムの目的や概要も実績として示した方がよい。
取組3 「やさしい日本語」実践講座	日本語を教えるスタッフや、ボランティアで参加する日本人が「やさしい日本語」をつかえるようにする。	3日間のべ参加者83名(1日平均28名) やさしい日本語の基礎から応用練習まで、命にかかわる防災情報を伝える方法を学んだ。日常生活に使えるカテゴリーⅡの習得が今後の課題。	4	3日間延べ83名が参加。外国人のための日本語教室より、教える側のボランティアやスタッフの講座に、多くの参加者がいたのは受入体制づくりとして希望がある。
取組4 離島地域における地域日本語教室の充実	離島地域に暮らす外国人が日本語を学習する場を確保する。	現状を把握し、今後も連絡を取り合う体制ができた。石垣市では「やさしい日本語」を紹介する講座を行い、外国人を受け入れる態勢作りに市としても積極的に取り組みたいと話していた。	4	今回、離島地域に暮らす外国人が日本語を学習する場を確保するという初めての取り組みであり、アンケート回答で積極的な意見が多く寄せられていた。

評価の基準
5 十分な成果をあげており、今の努力を継続すればよい。
4 かなりの成果をあげており、今の努力を継続すればよい。
3 一応の成果は認められるが、改善の余地がある。
2 十分な成果をあげているとは認めがたく、いっそうの努力が望まれる。
1 見るべき成果に乏しく、大幅な改善が望まれる。

対象事業 平成28年度文化庁委託事業 沖縄県内在住『生活者としての外国人』のための地域日本語教育実践プログラム

事業の目的 沖縄県内在住の外国人が、日本語能力の不足によって誤解されたり、不利益を被ることのないよう、日本語力ならびに日本の文化習慣を学べる機会を作ることを通して、周囲の日本人にこうした在住外国人の存在を知らせ、彼らが抱える諸問題の解決のために日本人が積極的にかかわっていけるような体制を整える。特に今回、那覇市での教室を継続させるとともに、離島地域での日本語教室の立ち上げ、充実に向けて、現地の有志と連絡をとりあい、体制作りを行う。

評価項目 目標設定に対する達成度を評価する。

事業名	目標設定	事業実績	段階評価	評価項目に対する主な意見
取組1 日本語教室	①受講生が必要としている日本語学習を、それぞれの要望に応じて提供できるよう、教材の選択肢を増やして、学習満足度を高め、日本語力の向上をめざす。 ②仕事を探している受講生が積極的に就職活動ができるよう応援していく。	参加外国人49名(24の国・地域) 日本人16名 平均外国人参加者9名 日本人参加者8名。 ほぼ1対1か、2で、本人が希望する内容の学習ができた。次年度の継続を希望する声も多い。	3	日本語力の向上に関して、認定試験とまではいかなくとも 外部から見て進捗度、達成度がわかるテストがあれば、より 効果がはっきり見えると思います。
取組2 大交流会	身近に暮らす外国人の出身地の文化を通して、日本人と外国人が互いを理解し、安心して住める地域づくりをめざして連携できるきっかけとする。	参加外国人350名 日本人150名程度 日頃紹介する機会が少ない母国の文化を楽しみながら日本人に伝えることができ、日本人の外国人への理解も深まった。	5	
取組3 「やさしい日本語」実践講座	日本語を教えるスタッフや、ボランティアで参加する日本人が「やさしい日本語」をつかえるようにする。	3日間のべ参加者83名(1日平均28名) やさしい日本語の基礎から応用練習まで、命にかかわる防災情報を伝える方法を学んだ。日常生活に使えるカテゴリーⅡの習得が今後の課題。	3	防災は取り組みやすいテーマだとは思いますが、 優先度からすると、むしろカテゴリーⅡではないでしょうか
取組4 離島地域における地域日本語教室の充実	離島地域に暮らす外国人が日本語を学習する場を確保する。	現状を把握し、今後も連絡を取り合う体制ができた。石垣市では「やさしい日本語」を紹介する講座を行い、外国人を受け入れる態勢作りに市としても積極的に取り組みたいと話していた。	3	離島地域の日本語学習の需要がどれほどあるのか、希望する学習内容は？などリサーチが必要だとも思います。

評価の基準
5 十分な成果をあげており、今の努力を継続すればよい。
4 かなりの成果をあげており、今の努力を継続すればよい。
3 一応の成果は認められるが、改善の余地がある。
2 十分な成果をあげているとは認めがたく、いっそうの努力が望まれる。
1 見るべき成果に乏しく、大幅な改善が望まれる。

対象事業 平成28年度文化庁委託事業 沖縄県内在住『生活者としての外国人』のための地域日本語教育実践プログラム

事業の目的 沖縄県内在住の外国人が、日本語能力の不足によって誤解されたり、不利益を被ることのないよう、日本語力ならびに日本の文化習慣を学べる機会を作ることを通して、周囲の日本人にこうした在住外国人の存在を知らせ、彼らが抱える諸問題の解決のために日本人が積極的ににかかわっていけるような体制を整える。特に今回、那覇市での教室を継続させるとともに、離島地域での日本語教室の立ち上げ、充実に向けて、現地の有志と連絡をとりあい、体制作りを行う。

評価項目 目標設定に対する達成度を評価する。

事業名	目標設定	事業実績	5段階評価	評価項目に対する主な意見
取組1 日本語教室	①受講生が必要としている日本語学習を、それぞれの要望に応じて提供できるよう、教材の選択肢を増やして、学習満足度を高め、日本語力の向上をめざす。 ②仕事を探している受講生が積極的に就職活動ができるよう応援していく。	参加外国人49名(24の国・地域) 日本人16名 平均外国人参加者9名 日本人参加者8名。 ほぼ1対1か、2で、本人が希望する内容の学習ができた。次年度の継続を希望する声も多い。	5	常に参加者数が安定し、1対1か2で対応し取り組めたことは、学習者が聞きたいことを聞き、知りたいことを知ることができたのではないかと推察する。
取組2 大交流会	身近に暮らす外国人の出身地の文化を通して、日本人と外国人が互いを理解し、安心して住める地域づくりをめざして連携できるきっかけとする。	参加外国人350名 日本人150名程度 日頃紹介する機会が少ない母国の文化を楽しみながら日本人に伝えることができ、日本人の外国人への理解も深まった。	5	外国人がもつ多様な文化や考えに触れ、地域の仲間として交流する機会になった。文化の違いを理解し合い、楽しむことで、人への理解、地域への理解となり、ひいては安心して住める多文化共生の地域づくりにつながると考える。この繋がりが継続的、発展的なものになることも期待したい。
取組3 「やさしい日本語」実践講座	日本語を教えるスタッフや、ボランティアで参加する日本人が「やさしい日本語」をつかえるようにする。	3日間のべ参加者83名(1日平均28名) やさしい日本語の基礎から応用練習まで、命にかかわる防災情報を伝える方法を学んだ。日常生活に使えるカテゴリーⅡの習得が今後の課題。	4	3日間連続の受講で関心や理解が深まった。講師のわかりやすい講話と参加型ワークショップで参加者同士で学びあう場面も多かった。実際にやさしい日本語でのお知らせを作成することで、ポイントを知ることができた。勉強会等があればより定着し広がってのではないかと考える。
取組4 離島地域における地域日本語教室の充実	離島地域に暮らす外国人が日本語を学習する場を確保する。	現状を把握し、今後も連絡を取り合う体制ができた。石垣市では「やさしい日本語」を紹介する講座を行い、外国人を受け入れる態勢作りに市としても積極的に取り組みたいと話していた。	5	離島地域で「やさしい日本語」講座が実施できたことは、先進的な取り組みと言える。地域で生活する外国人への理解や態勢づくりのきっかけになる取り組みとなった。連携できる関係性から、これからのさらなる取り組みも期待できると考える。

評価の基準

- 5 十分な成果をあげており、今の努力を継続すればよい。
- 4 かなりの成果をあげており、今の努力を継続すればよい。
- 3 一応の成果は認められるが、改善の余地がある。
- 2 十分な成果をあげているとは認めがたく、いっそうの努力が望まれる。
- 1 見るべき成果に乏しく、大幅な改善が望まれる。

対象事業 平成28年度文化庁委託事業 沖縄県内在住『生活者としての外国人』のための地域日本語教育実践プログラム

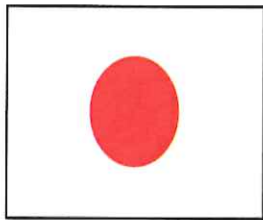
事業の目的 沖縄県内在住の外国人が、日本語能力の不足によって誤解されたり、不利益を被ることのないよう、日本語力ならびに日本の文化習慣を学べる機会を作ることを通して、周囲の日本人にこうした在住外国人の存在を知らせ、彼らが抱える諸問題の解決のために日本人が積極的ににかかわっていけるような体制を整える。特に今回、那覇市での教室を継続させるとともに、離島地域での日本語教室の立ち上げ、充実に向けて、現地の有志と連絡をとりあい、体制作りを行う。

評価項目 目標設定に対する達成度を評価する。

事業名	目標設定	事業実績	5段階評価	評価項目に対する主な意見
取組1 日本語教室	①受講生が必要としている日本語学習を、それぞれの要望に応じて提供できるよう、教材の選択肢を増やして、学習満足度を高め、日本語力の向上をめざす。 ②仕事を探している受講生が積極的に就職活動ができるよう応援していく。	参加外国人49名(24の国・地域) 日本人16名 平均外国人参加者9名 日本人参加者8名。 ほぼ1対1か、2で、本人が希望する内容の学習ができた。次年度の継続を希望する声も多い。	4	アンケートを回収した20人中17人が、「このプログラムを受ける前よりも、日本での生活ができるようになったと思う」と答えている。 また、「もっと日本語を勉強したいと思う」が100%の回答の結果から、充実したプログラムだったことが見受けられ、評価できる。
取組2 大交流会	身近に暮らす外国人の出身地の文化を通して、日本人と外国人が互いを理解し、安心して住める地域づくりをめざして連携できるきっかけとする。	参加外国人350名 日本人150名程度 日頃紹介する機会が少ない母国の文化を楽しみながら日本人に伝えることができ、日本人の外国人への理解も深まった。	5	参加者が多く、楽しみながら多文化交流ができたとのことなので、良い取り組みだと評価できる。
取組3 「やさしい日本語」実践講座	日本語を教えるスタッフや、ボランティアで参加する日本人が「やさしい日本語」をつかえるようにする。	3日間のべ参加者83名(1日平均28名) やさしい日本語の基礎から応用練習まで、命にかかわる防災情報を伝える方法を学んだ。日常生活に使えるカテゴリーⅡの習得が今後の課題。	5	「内容が良かった」「参加して良かった」との意見が多数あり、有意義なプログラムと評価できる。
取組4 離島地域における地域日本語教室の充実	離島地域に暮らす外国人が日本語を学習する場を確保する。	現状を把握し、今後も連絡を取り合う体制ができた。石垣市では「やさしい日本語」を紹介する講座を行い、外国人を受け入れる態勢作りに市としても積極的に取り組みたいと話していた。	5	離島での「やさしい日本語講座」は初めてとのこと、良い取り組みだと評価できる。

評価の基準
5 十分な成果をあげており、今の努力を継続すればよい。
4 かなりの成果をあげており、今の努力を継続すればよい。
3 一応の成果は認められるが、改善の余地がある。
2 十分な成果をあげているとは認めがたく、いっそうの努力が望まれる。
1 見るべき成果に乏しく、大幅な改善が望まれる。

NPO法人 イレスコ沖縄国際人材支援センター



にほんごむりょう

日本語無料クラス!

FREE Japanese Classes!

レベルにあわせて、勉強したい
ことが 日本人とまなべます!
You can study anything you
want to learn with
Japanese natives!



こい
語彙?

Vocabulary?

ぶんぽう
文法?
Grammar?

かんじ
漢字?
Kanji?

かいわ
会話?

Conversation?

All Japanese levels
are
WELCOME!!

エトセトラ
etc. etc...

いつ: 毎週 水曜日 Every Wednesday 6:30-8:30 pm

どこ: 那覇市西 2-1 2-1 4 2-12-14 Nishi, Naha city



Contact: 098-866-8321

Mail: iresco@iresco-gores.com

www.iresco-gores.com

facebook

NPO 法人 イレスコ
NPO IRESCO

おきなわこくさいじんざいしえん
沖縄国際人材支援センター

International Resources
Support Center in Okinawa

第4回

世界のまーさん大交流会

ネパール バングラデシュ ミャンマー

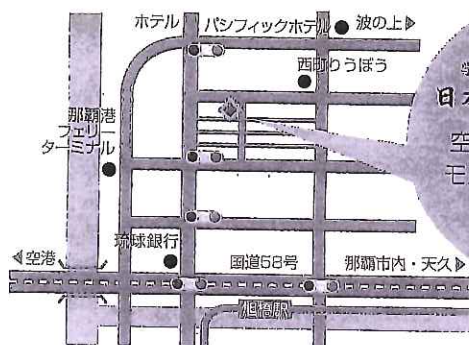
ベトナム 越南 スリピン ロシア スリランカ

モンゴル 中国

2017年3月5日 11:00~16:00

ゴレスアカデミー 日本文化経済学院

ぜひきて
ください!



学校法人ゴレス アカデミー
日本文化経済学院
空港から車で10分。
モノレール旭橋駅から
徒歩約10分。

〒900-0036 沖縄県那覇市西 2-12-14

Tel:098-869-8686 Fax:098-865-3230

「やさしい日本語」って何？

8/23(火)・24(水)・25(木) 3日間連続集中講座

参加無料

徐行 ⇒ ゆっくり はしります。

無料 ⇒ おかねは いりません。

故障 ⇒ こわれています。



講師：杉本篤子氏（「やさしい日本語」有志の会）

時間：午後6：30-8：30

場所：日本文化経済学院 3F（那覇市西町 下図参照）

※駐車場はございません。コインパークをご利用ください。

「やさしい日本語」をしていますか？

地震・台風・毎日のお知らせ、私たちの周りには情報がいっぱい。でも外国人には難しい言葉、漢字、表現ばかりです。今、全国で「やさしい日本語」で情報を伝える取組が始まっています。何が難しいのか、どう伝えたらいいのか、いっしょに考えてみませんか。どなたでも大歓迎です。お待ちしております。

申込・お問い合わせ

NPO 法人 イレスコ
(沖縄国際人材支援センター)

Tel&Fax: 098-866-8321

iresco@iresco-gores.com

www.iresco-gores.com



学校法人 ゴレス アカデミー
日本文化経済学院
空港から車で10分。
モノレール旭橋駅から
徒歩約10分。

易しい日本語？ 優しい日本語？

災害時・緊急時に、外国人それぞれの母語で情報を伝えられたら、一番安心です。でもすべての人の母語に翻訳するのは不可能です。実際、今全国で、多言語に翻訳することに限界を感じて、「やさしい日本語」で情報を伝えようとしている自治体が増えています。理解できる日本語のほうが、誤訳の多い翻訳より、はやく、的確に伝わる、といわれています。

そこで、外国人が「理解しやすい日本語」について、何がむずかしくて、どこが理解できないのか、どのように表現すればいいのか、短い3日間ですが、みんなで考えていきましょう。

<講座内容> ※1日だけの参加も可能です。

①「やさしい日本語」基礎講座 8月23日(火)

★なぜ「やさしい日本語」ができたのか。

★「やさしい日本語」12のルール

どのような日本語が外国人にわかりやすいか、考える。

②「やさしい日本語」で行う外国人のための防災出前講座 8月24日(水)

★地震や台風の時の避難所について

★地域のハザードマップについて

★防災グッズについて

外国人日本語学習者といっしょに考える。

③「やさしい日本語」書き換え練習 8月25日(木)

★災害時の情報の書き換え練習

★生活情報の書き換え練習

実際に、やさしい日本語にチャレンジする。

時間は3回とも
午後6時半～8時半
です。



<講師> 杉本篤子氏

「やさしい日本語」有志の会 事務局

ボランティア日本語教室「にほんご空間・京都」代表

「やさしい日本語」有志の会・・・災害時に、少しでも多くの外国人に助かってほしいという思いから2009年に京都で設立された団体です。災害時に外国籍住民に正確な情報を提供するための「やさしい日本語」ワークショップや外国籍住民のための「防災出前講座」を各地で開催しているほか、「やさしい日本語」勉強会にも取り組んでいます。

「やさしい日本語」講座

【文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業委託事業】

地震・台風・毎日のお知らせ、私たちの周りには情報がいっぱいですが、外国人には難しい言葉、漢字、表現ばかりです。今、全国では「やさしい日本語」で情報を伝える取組が始まっています。何が難しいのか、どう伝えたらいいのか、いっしょに考えてみませんか。どなたでも大歓迎です。お待ちしております。

日時

2016年

1月18日 **水** 19日 **木** 午後2時～5時

場所：石垣市役所 第1・2会議室

共催：石垣市・NPO法人イレスコ沖縄国際人材支援センター

※講座は両日同じ内容です。

＜講座内容＞

①「やさしい日本語」基礎講座

★なぜ「やさしい日本語」ができたのか。

★「やさしい日本語」12のルール

②「やさしい日本語」書き換え練習

★災害時の情報の書き換え練習

★生活情報の書き換え練習

例

徐行⇒ゆっくり はしります
無料⇒おかねは いりません
故障⇒こわれています



講師プロフィール

杉本篤子氏

「やさしい日本語」有志の会 事務局

ボランティア日本語教室「にほんご空間・京都」代表

「やさしい日本語」有志の会・・・災害時に、少しでも多くの外国人に助かってほしいという思いから2009年に京都で設立された団体です。災害時に外国籍住民に正確な情報を提供するための「やさしい日本語」ワークショップや外国籍住民のための「防災出前講座」を各地で開催しているほか、「やさしい日本語」勉強会にも取り組んでいます。

誘い

誘い

石垣市でも在住外国人は増加しています。日常生活に必要な情報であるにもかかわらず、日本語の表現が難しく伝わらないことも多くあります。また、災害発生後に日本語による情報が理解できず、大変な思いをされた方々も存在します。情報は英語、中国語で伝えればよいとの意見もありますが、在住外国人の中には英語、中国語を理解しない人もいます。

「やさしい日本語」として外国人でも理解しやすい日本語です。日常使っている簡単な日本語で情報を伝えることで、より多くの人々に情報を伝えることが

す。ガス臭いようなところがありましたら、マッスを擦ったり、照り、消したり、という

「気をつけてください。火を使わないでください。火事に気がつ明のスイッチをつけた

「防災出前講座」を各地で開催されています。今回は災害時に外国人が陥る状況や「やさしい日本語」の12のルールを中心に、外国人にとってどんな言葉や表現が分かりやすいのかを身近な例を通して学ぶことができます。

会場で「やさしい日本語」ワークショップや外国籍住民のための「防災出前講座」を各地で開催されています。今回は災害時に外国人が陥る状況や「やさしい日本語」の12のルールを中心に、外国人にとってどんな言葉や表現が分かりやすいのかを身近な例を通して学ぶことができます。

やさしい日本語講座

石垣市市民生活課 池村 泰 治

きるのです。

例えば、地震災害時にラジオで次のような放送がありました。

「皆さん、落ち着いて行動をお願いします。」

「やさしい日本語」として外国人でも理解しやすい日本語です。日常使っている簡単な日本語で情報を伝えることで、より多くの人々に情報を伝えることが

い。日本人なら理解できますが、日本語に慣れない外国人にとってはどうでしょうか。「やさしい日本語」では次のように表現します。

「皆さん、落ち着いて行動をお願いします。」

同じ日本語でも「使う人」「伝えたい相手」「伝える目的」によって言葉は多様に変わります。

石垣市役所第1・2会議室
◆問い合わせ
石垣市役所市民生活課 82-11253

◆日時

1月18日(水)
午後2時～5時

◆場所

石垣市役所第1・2

◆問い合わせ

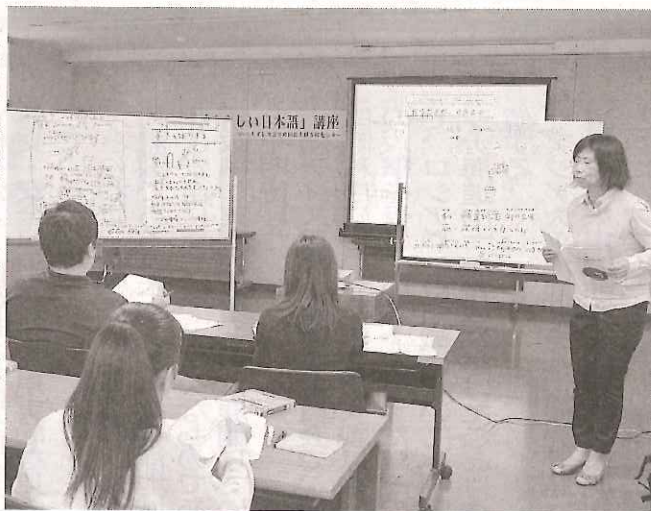
石垣市役所市民生活課 82-11253

八重山日報

「やさしい日本語で」

緊急時の外国人対応学ぶ

NPO法人イレスコ「やさしい日本語講座」
沖縄国際人材支援センが18、19の2日間、市
ターと石垣市主催の「役所会議室で開かれて



外国人に情報をどう伝えたら理解されやす
いかを学ぶ、やさしい日本語講座が開かれ
た。18日午後、石垣市役所会議室

いる。

市観光交流協会、市
商工会、八重山地区医
師会、八重山タクシー
事業協同組合などの団
体関係者や市職員約20
人が参加。「やさしい
日本語」有志の会の杉
本篤子氏が講師を務
め、災害時や緊急時の
外国人対応をイラスト

や例文で紹介した。

徐行は「ゆっくり走
ります」無料は「お金
はいりません」など、
日本人が普通に使う言
葉を外国人が理解でき
るように分かりやすく
置き換えるよう求め
た。外国人が苦手とす
るカタカナにも「ふり
がな」を振ったりする

などの工夫が必要だと
した。

受講生らは3グルー
プに別れ、15分の制限
時間内で外国人向けの
告知ポスターを作成。
杉本氏は「講座が外国
人に情報を正しく正確
に伝えるきっかけにな
れば」と期待した。

異国の友は地域の宝



宮古島市婦人連合会 古波蔵 孝子

私は、宮古島市社会福祉協議会でコミュニティソーシャルワーカーという職名をいただいています。個別支援として、相談援助活動を行っています。地域に出かけて行って、困りごとの相談を受けたりしています。その人らしいやり方で問題解決ができるように、一緒に考えていきます。そういう活動を下地地区でやっていたときのことです。来間島で小中学校の運動会があるので、ボランティアとして参加してほしいと言われ、さっそく出かけました。会場を見渡すと、外国人のお嫁さんがたくさんいることにすぐ気づきました。言葉が理解できず、自分の思いも十分に表現できないことはさぞかし不自由な思いをしているのではないだろうか、さみしい思いをしているのではないだろうか

かと自然に思えてきました。そこで私は、「このお嫁さんたちへの支援として日本語教室の開講や近隣住民との交流会を行いたい。」と考えました。

平成十七年十月市町村合併と共に、社会福祉協議会も五市町村社協が合併することになりました。新しい宮古島市社会福祉協議会は「福祉のふは、ふだんの、福祉のくはくらしの、福祉のしはしあわせづくり」というスローガンをかかげました。

地域には生まれたばかりの赤ちゃん、その兄弟姉妹、子供たちを頑張って育てている若い親たち、高齢者、障がい者、障がい児、一人親家庭、外国人等が住んでいます。自分や家族のより良い生活のため、より良い人生を求めて暮らしています。そのすべての住民の地域における「ふだんの、くらしの、しあわせづくり」が私に与えられた職名なのだとはつきり自覚しました。

平成二十五年十月より日本語教室開講が実現しました。開講にあたって私の大きなこだわりをお伝えしなければなりません。先ほど申し上げましたように、外国の皆様は「言葉が理解できず、自分の思いも十分に表現できないことは、さぞかし不自由な思いをし、異国でさみしい思いをしているのではないだろうか。」そんな皆様の思いをしっかりと感じ、共有してくれる講師でなければならぬと強く思いました。また、日本語の学びを通して、人間同士の交流経験の場にしたいと考えました。私の考えに賛同した良い先生が間もなく決まりました。受講者は自分の持っている情報をもとに、一軒一軒訪問して呼びかけました。約三十人の方々が来てくださいました。多くはフィリピン、ベトナム出身者で、他にタイやメキシコ出身者も学んでいます。結婚し、

出産し、育児をしています。また、夫や奥さんと共に農業を営んだり、病院やホテルでヘルパーや従業員として働いています。実に明るく、辛抱強く、けなげに、地域の一員として暮らしています。言葉の壁や文化の違いからくる心労、人間関係の構築の大変さ、就労までの困難さ、子どもの教育等、様々な問題を抱えています。自己責任では片づけられない地域の課題でもあります。社会的孤立に至るリスクが高いと考えています。

これまでの主な取り組みを紹介しましょう。①日本語教室は毎週水曜日午後八時から九時半まで、下地老人福祉センターで行っています。勉強だけでなく、他の地域にある「西原コーラスゆりの会」をお招きし、歌や踊りの交流会も行いました。また、「宮古島インターナショナルフрендシップクラブ」と名づけたボランティアグループも誕生しました。トライアスロン宮古島大会で毎年ボランティア活動も行っています。②平成二十六年フィリピンに台風災害があった際、宮古地区婦人連合会主催の「美らしまチャリテイ演芸会」開催に社協も協力させていただきました。教育委員会、企業、地域子ども会、青年会、自治会、家族等、大きな交流のうねりとなり、大成功裏に終わりました。③「ばんたがみやくく ゆんたくひんたく」を開催し、シンポジウムや交流会を行いました。宮古島に住む外国人・地域住民が安心して生活できる多文化共生社会を目指して取り組んでいます。④平成二十七年から「宮古島在住外国人アンケート調査」を実施しています。外国人が宮古島にどのくらい在住しているのか、どんな暮らしをしているのかを知り、生活課題を支援する目的で聞き取り調査を行っています。

す。⑤自分の国の文化を子どもに伝えたいという一人の親の思いを形にしたのが、ベトナム語教室の開催です。約十人の子供たちが学んでいます。六月末から、ベトナムのお嫁さんをもらった一人のお母さまがベトナム語を学びたいと来てくれています。一方、子どもの母親たちは自分たちの手作り料理を持ち寄ってベトナム語でおしゃべりしたり、踊りの相談や練習をしたりしています。その中からベトナム人嫁ボランティアグループも生まれました。地域の敬老会で踊りを披露しています。先日行われました第五十回婦人の演芸会にも特別出演として参加しました。また、フィリピンの皆様方は、下地地区婦人会の一員として参加しました。実に美しく、けなげに頑張って生きている様子が感じられました。

最後に、これからの取り組みとして考えることは、日本語教室を福祉的支援の入り口にした生活課題の掘り起こしと実態調査による気になる世帯の発見とその援助活動を行い、宮古島に住む外国人の皆さまや地域住民の皆さまが安心して生活できる社会づくりに、行政各担当課や各団体、もちろん宮古地区婦人連合会等との連携を図りながら取り組んでまいります。



平成28年度文化庁委託「生活者としての外国人」のための日本語教育プログラムB
日本語教室スタッフ会議 議事録

日時：平成28年6月8日（水） 午後6時半～8時半

場所：沖縄国際人材支援センター事務所

参加者：太田 新垣 西原 嘉手苅 根路銘 仲田 藤崎 瀬底

内容：今年度の日本語教室の概要を話し合う

○去年は週2回だったが、12月に終了することを惜しむ声が多かったので、今年は週1回にして、3月まで継続することにする。

○統一したテーマは作らず、それぞれの受講生が勉強したい内容を学ぶことで満足度を高める。

○スタッフの担当する日を決めておいて、行けないときは、代わりの人に連絡して、穴があかないようにする。

○担当日以外ももちろん来たほうがいい。

○友人等、興味のある日本人がいれば、どんどんボランティアとして参加してもらって、日本語教室をひろげていく。

○教材は、初級、中級、上級の各レベルのものを毎回用意しておく。

○フェイスブックにこれまでの教材をアップしているので、その中から選んでもいい。

○マッチングに問題があったり、受講生から要望があったら、藤崎か瀬底に伝える。

○受講生の進捗や関わり方の共有のために、毎回終わった後、簡単なミーティングをする。

○チラシができれば、おいてもらえるところに各自もっていく。

○無理なときは無理、と遠慮せずに言い合い、助け合ってやっていこう。

以上

平成28年度文化庁委託「生活者としての外国人」のための日本語教育プログラムB
日本語教室スタッフ会議 議事録

日時：平成29年3月8日（水） 午後6時半～8時半

場所：沖縄国際人材支援センター事務所

参加者：太田 新垣 西原 嘉手苺 仲田 藤崎 瀬底

内容：今年度の日本語教室の総括

①今年の取組の成果

- 1回でも参加した人 49人（22の国・地域）1回平均8.5人
- 去年は週2回だったが、今年は週1回で、そのかわり3月までの長丁場となった。
- 統一したテーマは作らず、それぞれの受講生が勉強したい内容を選んだり、もってきたりして、レベルごとにグループを作って学習した。
- 毎回、最後にどんな勉強をしたか、ひとりずつ発表して表に書き出したので、他のテーブルの人にも関心をもつ受講生が多かった。また、前回何をしたか、日本人も引き継ぎとして使えた。
- スタッフが意識的に出席したので、コンスタントに受け入れる態勢ができた。
- 見学もふくめて、ボランティアで参加する日本人が多かった。スタッフが多いと、はじめて来たボランティアの人も安心するようだ。

②改善すべき点

- 11月に入って寒くなると受講生が減ってしまった。休んだ人に、メールなどで声をかける必要がある。
- 来なくなった人に、その理由を確認することも大事だ。
- 月に1回は文化教室のようなイベント的な取り組みがあったほうがいい。
- まーさん大交流会への取り組みが遅かった。
- 毎回終わってからスタッフミーティングを予定していたが、受講生との話がおわらなかつたり、時間をとるのが難しかった。受講生情報など、共有すべきこともあるので、どのように時間を作るかが課題。
- 最後の10分で、今こまっていること、とか、最近感じたことなどをみんなで話し合える場を作れないか？
- 初級の人には、30回分の教材を準備しておいて、次回はこんなことをする、という予告ができれば、モチベーションがあがるのではないかな。
- 達成度が確認できるような方法を考える。たとえば発表とか。
- 出席カードのようなもので、自分が何回きたか、を確認できるものがあるといいのではないかな。

③次年度に向けて現在、文化庁に平成29年度の取り組みを申請中。

- 日本語教室は週2回にもどしたほうがいい。
- 曜日については、4月にもう一度集まって決める。

○やさしい日本語の復習学習会を4月にする。

○まーさん大交流会で日本語学習の成果を発表できるような工夫をする。

○イベントや交流会を定期的を開いて、受講生も日本人も一体感が持てるようにする。

以上

事業報告 第4回「世界のまーさん大交流会」

日時：2017年3月5日（日）9時から17時

場所：日本文化経済学院 1F～2F

参加者：ジョン ファン アンドレス ディピカ シヤシニー カルロス

津波古 根路銘 太田 藤崎 新垣 下門 瀬底 嘉手刈 仲田

内容：今年も日本語学校の日本文化経済学院と共催となり、2階にステージを設置し、フードコートは正面の道路の使用許可をとって歩行者天国として、テントをならべた。食事がゆっくりできて、また販売時間も2時間に限ったので、参加者は食事の後2階のステージをゆっくり鑑賞できた。また、去年の反省から、子連れの人たちが楽しめるように1教室にマットをしいた保育室を作ったので、親子連れに好評だった。日本語教室からは、イギリスとペルー、スリランカの受講生が料理を作り、来場者にふるまった。食事はどれも人気で、1時間ほどで、ほとんど売切れとなった。

ステージでは各国の民族衣装の紹介や、日本語学習の成果の発表、それぞれの国の歌やダンスの紹介でもりあがった。日本語教室の受講生のスペインのカルロスさんもフラメンコを披露する予定であったが、時間が合わず、キャンセルとなり残念だった。最後に1階の路上で外国人によるエイサーが披露され、沖縄の文化に興味をもつ隣人の姿に感動したという日本人が多かった。

成果といえる点

1. 予想以上の来客で、みな楽しんでいった。
2. 昨年来てよかったから、といって来た人もいて、継続が大切だと思った。
3. 料理が完売で、みな珍しい料理に喜んでいった。

反省点

1. 日本語教室を紹介する展示ができなかった。
2. 食事のレシピや説明をつけたほうがよかった。
3. 食事が終わったあと、引き続きステージとは別に、1階の路上でクイズ大会など企画すればよかった。（天候によるが）

食べ物の求心力をきっかけにして、身近な外国人に興味をもち、理解することが、多文化共生への第一歩だと実感した。

アンケートにご協力^{きょうりよく}ください

性別^(せいべつ) ・ 男性^(だんせい) ・ 女性^(じょせい)

Q1 きょうの「まーさん大交流^{だいこうりゅうかい}会」はどこから、しましたか。

・ ちらし/ポスター ・ がくせい ・ ともだち ・ かぞく

Q2 きょうのパーティーは、よかったですか。

よかった ・ ふつう ・ よくなかった

*りゆう: 白雪姫

Q3 うたやダンスのパフォーマンスはどうでしたか。

よかった ・ ふつう ・ よくなかった

*とくによかったもの:

Q4 料理^{りょうり}はいかがでしたか。

・ とてもおいしかった ・ ふつう ・ おいしくなかった

*おいしかったりょうり: タンドリーチキン 屯毛

Q5 らいねんも来^きますか。

くる

・ わからない

・ こない

ご協力^{きょうりよく}、ありがとうございました。

アンケートにご協力^{きょうりよく}ください

性別^{せいべつ} ・ 男性^{だんせい} ・ 女性^{じょせい}

Q1 きょうの「まーさん大交流会^{だいがうりゅうかい}」はどこから、しましたか。

・ ちらし/ポスター ・ がくせい ・ ともだち ・ かぞく

Q2 きょうのパーティーは、よかったですか。

・ よかった ・ ふつう ・ よくなかった

*りゆう: 学生の子達が明るく元気でパフォーマンスもよかった!

Q3 うたやダンスのパフォーマンスはどうでしたか。

・ よかった ・ ふつう ・ よくなかった

*とくによかったもの: 1組の日本語劇

Q4 料理^{りょうり}はいかがでしたか。

・ とてもおいしかった ・ ふつう ・ おいしくなかった

*おいしかったりょうり: サモサ

Q5 らいねんも来^きますか。

・ くる ・ わからなり ・ こない

ご協力^{きょうりよく}、ありがとうございました。

アンケートにご協力ください

性別 ☒ 男性 ☐ 女性

Q1 きょうの「まーさん大交流会」はどこから、しましたか。

☒ ちらし ☐ ポスター ☐ がくせい ☐ ともだち ☐ かぞく

Q2 きょうのパーティーは、よかったですか。

☒ よかった ☐ ふつう ☐ よくなかった

*りゆう: 明日があるさ、がよかった。

Q3 うたやダンスのパフォーマンスはどうでしたか。

☒ よかった ☐ ふつう ☐ よくなかった

*とくによかったもの: 明日がよかった (22分)

Q4 ^{りょうり}料理はいかがでしたか。

☒ とてもおいしかった ☐ ふつう ☐ おいしくなかった

*おいしかったりょうり: ステーキ

Q5 らいねんも来ますか。

☒ くる ☐ わからない ☐ こない

ご協力、ありがとうございました。

アンケートにご協力ください

性別 ・ 男性 ・ 女性

Q1 きょうの「まーさん大交流会」はどこから、しましたか。

・ちらし/ポスター ・がくせい ・ともだち ・かぞく

Q2 きょうのパーティーは、よかったですか。

とっ28. よかった ・ふつう ・よくなかった

*りゆう: エンタレオ ユーモア がよくよかった 日本お
もてなし

Q3 うたやダンスのパフォーマンスはどうでしたか。

よかった ・ふつう ・よくなかった

*とくによかったもの:

Q4 料理はいかがでしたか。

・とてもおいしかった ・ふつう ・おいしくなかった

*おいしかったりょうり: _____

Q5 らいねんも来ますか。

くる ・わからない ・こない

きょうりよく
ご協力、ありがとうございました。

アンケートにご協力^{きょうりょく}ください

性別^{せいべつ} ・ 男性^{だんせい} ・ 女性^{じょせい}

Q1 きょうの「まーさん大交流会^{だいきょうりゅうかい}」はどこから、しましたか。

・ ちらし/ポスター ・ がくせい ・ ともだち ・ かぞく

Q2 きょうのパーティーは、よかったですか。

・ よかった ・ ふつう ・ よくなかった

* りゆう: _____

Q3 うたやダンスのパフォーマンスはどうでしたか。

・ よかった ・ ふつう ・ よくなかった

* とくによかったもの:

Q4 料理^{りょうり}はいかがでしたか。

・ とてもおいしかった ・ ふつう ・ おいしくなかった

* おいしかったりょうり: MomO

Q5 らいねんも来^きますか。

・ くる ・ わからない ・ こない

ご協力^{きょうりょく}、ありがとうございました。

「やさしい日本語って何？」 3日間連続集中講座報告

1日目

日時：平成28年8月23日(火) 午後6時半～午後8時半

場所：日本文化経済学院3階講堂

参加者：25名（日本人21名 外国人4名）

最初に主催者を代表して、理事長より挨拶があり、その後杉本氏の講演に入る。

ワークショップ形式ということで、4・5人でテーブルを囲み、なぜ「やさしい日本語」に興味をもったかなどを自己紹介。その後テキストにそって「やさしい日本語」の必要性、できた経緯、実際に東日本大震災で活用された例などを聞く。

次に「火の元を確認する」などをグループごとに「やさしい日本語」に直してみるが、漠然としたイメージをことばにすると、ひとりひとり違っていて、あらためて日本語のあいまいさを実感する。他のグループの発表を聞いても、全然解釈がちがっていて驚いた。

いよいよ「やさしい日本語」の基本ルールの説明に入り、1項目ずつ、何が難しくどう直していくのが丁寧に語られ、非常に分かりやすかった。感想にもあったが、普段何気なく使っていることばの一つ一つが矛盾にみちていて、外国人の理解を妨げているということがよく分かった。

一通りルールについて学んだ後、新型インフルエンザについて、日本人向けと外国人向けに作られた2つの自治体が出したお知らせを見比べながら、「やさしい日本語」をどのように使うとわかりやすいかをグループで話し合う。ルールを知った上で読むと、さまざまな気付きがあり、また、これは外国人だけでなく、子どもや高齢者、障がい者にもわかりやすいということがわかった。まさに「ことばのユニバーサルデザイン」だと思った。

最後にインターネット上でとれるさまざまな情報についての説明と、「やさしい日本語作成のためのガイドライン」と京都で発行されている「やさしい日本語」で書かれた「防災ガイドブック」についての説明があり、終了した。

2日目

日時：平成28年8月24日(水) 午後6時半～午後8時半

場所：日本文化経済学院3階講堂

参加者：36名（日本人23名 外国人13名）

今日は最初の30分で昨日参加していない人のために簡単に「やさしい日本語」について復習し、また今日の防災講座についての説明をする。その間外国人学習者は、受付付近に展示した毛布や乾パン、懐中電灯などの防災グッズの名前や使い方を1つ1つ確認する。こ

れらは那覇市防災室から借りてきた。

7時過ぎに6つあるテーブルに2人ずつぐらい外国人学習者が混じって、防災講座がスタートする。

まず地震が起きたら何をするか、イラストを提示しながら「やさしい日本語」で説明する。「身をまもる」では、実際に机の下にはいって頭を守る行動をとってみる。また外国人学習者にはホイッスルがプレゼントされ、助けを呼びたいときに吹くこと、いつも持ち歩くことを伝える。次にゆれがとまったあとどうするか、で、避難所を説明する。自分の家から一番近い避難所を確認し、避難所で何ができるか、を学ぶ。さらに、地震がおきたときに、電気やガスがとまる、スーパーの品物がなくなる、ということを知っておき、必要なものを準備しておく必要性が語られ、防災グッズの説明に入る。

リスト1つずつの名前と使い方を、学習者と日本人と一緒に確認していく。ラップやガムテープをどのように使うかなど、日本人も知らない情報を共有する。また、那覇市防災室の好意で寄附していただいた非常食を試食してみる。防災室の担当からは避難所の開設や避難情報を英・中・韓3言語で伝えるスマートフォンのアプリが紹介され、さっそく登録している学習者もいた。

最後に、今日習ったことをもう一度確認したあと、2011年の東日本大震災の津波の映像を見る。たった5分ですべてが飲み込まれる現実にみな災害の恐ろしさを改めて実感し、備えの必要性を感じて終わった。

外国人学習者からは「やさしい日本語」でわかりやすかった、といった感想がきかれ、日本人も、もっとこのような講座を各地域でやらなければならない、という声があがっていた。

3日目

日時：平成28年8月25日(木) 午後6時半～午後8時半

場所：日本文化経済学院3階講堂

参加者：22名（日本人20名 外国人2名）

台風接近で時々雨が強くふり心配したが、はじめて来た人もいたので復習をしているうちに徐々に席が埋まっていく。

日本人向けお知らせを「やさしい日本語」に直していくワークを5つしながら、どこに問題があるのか、どう直したらいいのか、意見を出し合いながら学んでいく。正解があるわけではなく、いかにわかりやすくするか、検証し続けることが重要だと講師から説明があった。

次に、ポスターにするときの注意点をきき、実際に避難所にはりだすために、テーブルごとに違う内容の文章だけのお知らせをポスターにする。「臨時便」はなんと表現したらいいのか、「2階以上」は2階を含むのか、「曜日は変更になることもあります」はどう書いたらいいのか、等、それぞれ知恵を絞ってアイデアを出し合い、書き込んでいく。イラストに苦

労しているグループもあった。ひと段落したところで、実際に東日本大震災で配られた似たような内容のポスターのサンプルを渡し、それを参考にもう一枚、バージョンアップしたポスター作りに取り組む。「自分たちで考えたものもいい線いってる」というところもあれば、「あー、こういうふうに表現すればいいんだ」と納得しているところ、「これは気付かなかった」と新たな項目を書き加えるところ、一度自分たちで悩んだものだけに、新鮮な気付きの連続だった。感想でも、「こんなに難しいとは思わなかった」とか「何を伝えるのか、取捨選択が難しい」と言う声が聞かれ、講師から、あくまで情報を受け取る外国人から見てどうなのか、を考えて、近くにいる外国人に助言を求めることも有効な方法だとの提起があった。

最後に、災害時だけではなく、日常生活の情報を発信するために、2014年にカテゴリーⅡが発表されたこと、その内容について説明があり、またネット上に公開されているさまざまなサイトの活用方法について説明がなされ、現在も進化を続けていることが紹介された。

終了後のアンケートにも、何回も練習が必要だ、とか、講座の継続を望む声が多数あり、今後も何らかの形で勉強会を企画していきたいと思う。

以上

「やさしい日本語って何？」石垣講座報告

1日目

日時：平成29年1月18日(水) 午後2時～午後5時

場所：石垣市役所2階会議室

参加者：22名・・・市役所13名 観光関係3名 市民6名（うち外国人2名）

当初は市役所職員のみを対象にする予定だったが、新聞に投稿するなどして一般からの参加も募ったところ、6名の参加があった。最初に市民保健部の部長からあいさつがあり、その後杉本氏の講演に入る。

最初に、なぜ「やさしい日本語」ができたのか、という経緯を阪神淡路大震災、東日本大震災の際のエピソードをまじえ、紹介される。

次に「火の元を確認する」などをグループごとに「やさしい日本語」に直しながら、定義のあいまいさを確認し、辞書をひいても分かりづらいことばが日本語にあふれていることに気付かされる。

続いて「やさしい日本語」の12の基本ルールを実例を挙げながら説明した。感想にもあったが、普段何気なく使っていることばの一つ一つが外国人にとって難しいこと、イラストや写真、大きい文字が理解を助けることが、だんだんと理解されていく。

その後、新型インフルエンザについて「やさしい日本語」で書かれたお知らせをみて、どこがやさしいか、など話し合いながら、外国人だけでなく、子どもや高齢者、障がい者にもわかりやすいということを理解する。

最後に情報をポスターにする、というワークを3グループに分かれて取り組む。実際自分で書こうとして、はじめていろんな疑問がでてきた、とか、このことばを使っているのかわからない、などの声があり、そのためにインターネット上でとれるさまざまな情報、特に「やさしい日本語作成のためのガイドライン」が紹介され、参考として京都で発行されている「やさしい日本語」で書かれた「防災ガイドブック」を説明して、駆け足の講座を終了した。

2日目

日時：平成29年1月19日(木) 午後2時～午後5時

場所：石垣市役所2階会議室

参加者：19名（全員市役所職員）

前日参加できなかった職員のために同じ内容の講座を開く。焼津市役所が通訳翻訳を依頼する際は、公文書もすべてやさしい日本語に直すように指示してマニュアルを作った事例に反応が強く、窓口対応でも実践していきたいという声が聞かれた。これを機会に市役所の日常業務や対応の見直しが行われ、外国人にとってストレスのない行政サービスが受けられるようになるといいと思った。

以上

アンケートにご協力ください。

☆どちらにお住まいですか？

那覇市内

沖縄市以南

本島内

離島

県外

☆これまで地域日本語教室に参加されたことがありますか？

よく参加している

参加したことがある

見学したことがある

聞いたことはある

全然知らない

その他

☆どのようにして、この講演会をお知りになりましたか？

友人・知人から

新聞で

チラシをみて

その他 (FB)

☆性別・年齢を教えてください。

男 / 女

30歳以下

31~40歳

41~50歳

51~60歳

61歳以上

☆感想、ご意見、ご質問などをお願いします。

「やさしい日本語」に前から興味があったが、
日本語
レベルがどのくらいなのか等の疑問があった。

今日の講義で、だいたいの日本語レベルや、作成する
時のチェックポイントが分かり、勉強になった。

☆ ボランティア大募集！

無料日本語教室ではボランティアを随時募集しています。3月1日までの毎週水曜日（年末年始の12月21日、28日、1月4日を除く）午後6時半から8時半まで、この3階の教室で開催しています。どなたでもご参加いただけます。ぜひ一度お越しください。

アンケートにご協力ください。

☆どちらにお住まいですか?

那覇市内

沖縄市以南

本島内

離島

県外

☆これまで地域日本語教室に参加されたことがありますか?

よく参加している

参加したことがある

見学したことがある

聞いたことはある

全然知らない

その他

☆どのようにして、この講演会をお知りになりましたか?

友人・知人から

新聞で

チラシをみて

その他

☆性別・年齢を教えてください。

男 / (女)

30歳以下

31~40歳

41~50歳

51~60歳

61歳以上

☆感想、ご意見、ご質問などをお願いします。

まだ遠くで、話している日本語は日本人の自然な話し

伝わるけど、外国語を話す人達はわかりづらい。

あ、もっと表現をさせて、わかりやすく伝える事が

大切だと、いろいろ勉強になりました。

☆ ボランティア大募集!

無料日本語教室ではボランティアを随時募集しています。3月1日までの毎週水曜日(年末年始の12月21日、28日、1月4日を除く)午後6時半から8時半まで、この3階の教室で開催しています。どなたでもご参加いただけます。ぜひ一度お越しください。

アンケートにご協力ください。

☆どちらにお住まいですか?

那覇市内

沖縄市以南

本島内

離島

県外

☆これまで地域日本語教室に参加されたことがありますか?

よく参加している

参加したことがある

見学したことがある

聞いたことほある

全然知らない

その他

☆どのようにして、この講演会をお知りになりましたか?

友人・知人から

新聞で

チラシをみて

その他

☆性別・年齢を教えてください。

男 / 女

30歳以下

31~40歳

41~50歳

51~60歳

61歳以上

☆感想、ご意見、ご質問などをお願いします。

災害が起きた時に、まず何をするのか、まずは、
私達自身も勉強になりました。今日 学んだ
事を外国の方にも伝えていきたいと思いました。
防災クラスコーナーとかも、実際に見てみようと思
いました。
今日も、ありがとうございました。

☆ ボランティア大募集!

無料日本語教室ではボランティアを随時募集しています。3月1日までの毎週水曜日（年
末年始の12月21日、28日、1月4日を除く）午後6時半から8時半まで、この3階の教
室で開催しています。どなたでもご参加いただけます。ぜひ一度お越しください。

文化庁委託「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
やさしい日本語って何？ 3日間 集中講座

8月24日

アンケートにご協力ください。

☆どちらにお住まいですか？

那覇市内

沖縄市以南

本島内

離島

県外

☆これまで地域日本語教室に参加されたことがありますか？

よく参加している

参加したことがある

見学したことがある

聞いたことはある

全然知らない

その他

☆どのようにして、この講演会をお知りになりましたか？

友人・知人から

新聞で

チラシをみて

その他

☆性別・年齢を教えてください。

男 / 女

30歳以下

31~40歳

41~50歳

51~60歳

61歳以上

☆感想、ご意見、ご質問などをお願いします。

あまり防災について真剣に考えたことはなかったが、
今日の講座に参加して備えが大切であることを実感。
前職では、外国からの研修生が多く、来日して台風や
地震未経験の方が多かった。初めての台風と地震を
経験した時はパニックになった人が多く、もし大震災が
発生したら、日本語や日本の生活に慣れていない人でも、
災害時にどうすればいいか分からないう。どうなるのか
ために外国人のみならず、子どもや高齢者にも分かりやすく
正確な情報を伝える必要があると感じた。

災害時に「やさしい日本語」が果たす役割は大きい。

☆ ボランティア大募集！

無料日本語教室ではボランティアを随時募集しています。3月1日までの毎週水曜日（年末年始の12月21日、28日、1月4日を除く）午後6時半から8時半まで、この3階の教室で開催しています。どなたでもご参加いただけます。ぜひ一度お越しください。

アンケートにご協力ください。

☆どちらにお住まいですか?

那覇市内

沖縄市以南

本島内

離島

県外

☆これまで地域日本語教室に参加されたことがありますか?

よく参加している

参加したことがある

見学したことがある

聞いたことはある

全然知らない

その他

3日間参加しました。

☆どのようにして、この講演会をお知りになりましたか?

友人・知人から

新聞で

チラシをみて

その他

☆性別・年齢を教えてください。

男 / 女

30歳以下

31~40歳

41~50歳

51~60歳

61歳以上

☆感想、ご意見、ご質問などをお願いします。

実際に日本語の案内文から「やさしい日本語」の案内も作成する

練習をしてみても、母語であるのに、やさしいわかりやすい言葉に

するのはなかなか難しいと思いました。

ご紹介頂いた「やさしい日本語」辞書は、ふたつから使えそうです。

いろいろなHPもよく見てみたいと思います。

3日間 本当にありがとうございました。

小野

☆ ボランティア大募集!

無料日本語教室ではボランティアを随時募集しています。3月1日までの毎週水曜日（年末年始の12月21日、28日、1月4日を除く）午後6時半から8時半まで、この3階の教室で開催しています。どなたでもご参加いただけます。ぜひ一度お越しください。

アンケートにご協力ください。

前回も来ました

☆どちらにお住まいですか?

那覇市内

沖縄市以南

本島内

離島

県外

☆これまで地域日本語教室に参加されたことがありますか?

よく参加している

参加したことがある

見学したことがある

聞いたことはある

全然知らない

その他

☆どのようにして、この講演会をお知りになりましたか?

友人・知人から

新聞で

チラシをみて

その他

☆性別・年齢を教えてください。

男 / 女

30歳以下

31~40歳

41~50歳

51~60歳

61歳以上

☆感想、ご意見、ご質問などをお願いします。

災害時に備える心がまえについて

親切、ていねいに教えていただきました。

はく然と 取り組んでいた事を反省しています

立場の弱い 外国の方々を助けてあげられる様に、

自分の身を守る為にも、しっかり目を向けて

いきたいと思えます。

ありがとうございました。

☆ ボランティア大募集!

無料日本語教室ではボランティアを随時募集しています。3月1日までの毎週水曜日(年末年始の12月21日、28日、1月4日を除く)午後6時半から8時半まで、この3階の教室で開催しています。どなたでもご参加いただけます。ぜひ一度お越しください。

文化庁委託「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
やさしい日本語って何？ 3日間 集中講座

8月25日

アンケートにご協力ください。

☆どちらにお住まいですか？

那覇市内

沖縄市以南

本島内

離島

県外

☆これまで地域日本語教室に参加されたことがありますか？

よく参加している

参加したことがある

見学したことがある

聞いたことはある

全然知らない

その他

☆どのようにして、この講演会をお知りになりましたか？

友人・知人から

新聞で

チラシをみて

その他

☆性別・年齢を教えてください。

男

女

30歳以下

31～40歳

41～50歳

51～60歳

61歳以上

☆感想、ご意見、ご質問などをお願いします。

3日間参加しましたが、「やさしい日本語」について いろいろ 分かりて
きました。日本語、は 難しい言葉と 2 文 2 文 感じました。
もっと 勉強したいので、勉強会をやったり、外国人と 一緒に
一緒に 勉強して いたい... と思います。先生のお話も 2 文
分りやすかったです。沖縄で「やさしい日本語」を 勉強でき 2 嬉しいことです。
今回の企画も して 頂き、本当に 有り難う ございました。
今後とも よろしく 願います。

☆ ボランティア大募集！

無料日本語教室ではボランティアを随時募集しています。3月1日までの毎週水曜日（年末年始の12月21日、28日、1月4日を除く）午後6時半から8時半まで、この3階の教室で開催しています。どなたでもご参加いただけます。ぜひ一度お越しください。

文化庁委託「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 in 石垣市 10/18日
「やさしい日本語」講座

♪♪アンケートにご協力ください♪♪

☆所属を教えてください。

☒ 市役所関係

☐ 観光関係

☐ 学校関係

☐ その他 ()

☆どのようにして、この講座をお知りになりましたか？

☒ 職場の人から

☐ 友人・知人から

☐ 新聞で

☐ チラシをみて

☐ その他 ()

☆性別・年齢を教えてください。

☐ 男

☒ 女

☒ 30歳以下

☐ 31～40歳

☐ 41～50歳

☐ 51～60歳

☐ 61歳以上

☆感想、ご意見、ご質問などをお願いします。

行政やニュースなどの日本語を改めて客観的に見てみると、日本人でも意味を
間違えて使用している言葉があったことに気が付いた。

また、言葉だけでなく、絵や文字の大きさなど、見せ方の工夫の勉強にもなった。

とくに、災害などの緊急時は重要な情報をいち早く入手しなければならぬため、

言葉のわかりやすさやレイアウトの見やすさは非常に大切だと感じた。

♪♪アンケートにご協力ください♪♪

☆所属を教えてください。

☒ 市役所関係

☐ 観光関係

☐ 学校関係

その他 ()

☆どのようにして、この講座をお知りになりましたか？

☒ 職場の人から

☐ 友人・知人から

☐ 新聞で

☐ チラシをみて

その他 ()

☆性別・年齢を教えてください。

☒ 男 / 女

☒ 30歳以下

☐ 31～40歳

☐ 41～50歳

☐ 51～60歳

☐ 61歳以上

☆感想、ご意見、ご質問などをお願いします。

日本語の長い文章を短く区切ること

はなかなか機会がなかったのでもともと勉強になった。

難しい表現も言い換えることで“対応できる”
ようなので、外国の方に質問された時にそのように対応できればと思いました。

文化庁委託「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 in 石垣市 1月18日
「やさしい日本語」講座

♪♪アンケートにご協力ください♪♪

☆所属を教えてください。

市役所関係

観光関係

学校関係

その他（求職者）

☆どのようにして、この講座をお知りになりましたか？

職場の人から

友人・知人から

新聞で

チラシをみて

その他（）

☆性別・年齢を教えてください。

男 / 女

30歳以下

31～40歳

41～50歳

51～60歳

61歳以上

☆感想、ご意見、ご質問などをお願いします。

今回の講座を受けて、日本語が複雑で外国人に伝わりにくいんだと

認識しました。

これから講座で学んだことを日常生活にいかし、優しい

人間になりたいです。そして、外国人とコミュニケーションをしていきたいです。

本日はありがとうございました。

「やさしい日本語」講座

♪♪アンケートにご協力ください♪♪

☆所属を教えてください。

市役所関係

観光関係

学校関係

その他 ()

☆どのようにして、この講座をお知りになりましたか？

職場の人から

友人・知人から

新聞で

チラシをみて

その他 (職場内 回 答)

☆性別・年齢を教えてください。

男

女

30歳以下

31～40歳

41～50歳

51～60歳

61歳以上

☆感想、ご意見、ご質問などをお願いします。

日本人に向けてだとくり返して表現するといいかなと感じる部分も、外国人に

向けだと分かりやすく具体的にすることで理解してもらえんだなと思いました。

今後の業務にいかしていただきます。ありがとうございました。

文化庁委託「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 in 石垣市 1月19日
「やさしい日本語」講座

♪♪アンケートにご協力ください♪♪

☆所属を教えてください。

市役所関係

観光関係

学校関係

その他 ()

☆どのようにして、この講座をお知りになりましたか？

職場の人から

友人・知人から

新聞で

チラシをみて

その他 ()

☆性別・年齢を教えてください。

男 / 女

30歳以下

31～40歳

41～50歳

51～60歳

61歳以上

☆感想、ご意見、ご質問などをお願いします。

ねらっていたことが学べた感じが大きいです。

やさしい日本語...外国人のみならず、お年寄りや障がいのある方、子ども達、カタカナ語が苦手な私含め、本当に

皆にわかりやすい、ユニバーサルデザイン表現になると思います。

ます。

これからの、食文化づくりと窓口対応、近所づき合い等にも

活かしていきたいと思っています。

情報も、いっしょにありがとうございました。